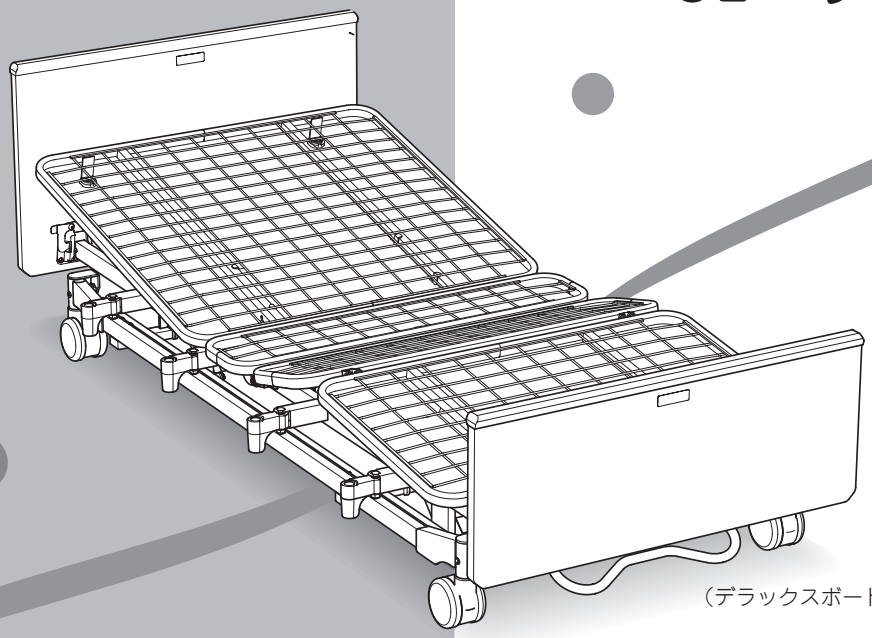
Seahonence Bed™

取扱説明書 保証書付

SLベッドシリーズ



（デラックスボード装着モデル）

ベッドを正しくお使いいただくために シーホネンスからのお願い

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書にはご使用上の注意事項や操作方法が記載されています。
- **ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いください。**
- ベッドを使用される方ばかりでなく、付き添いの方にも安全な操作方法を説明してください。
- お読みになった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にお問合せください。

もくじ

- 安全にお使いいただくために …… 1〜7
  - 表示と絵表示について …… 1
  - 警告ラベルについて …… 1
  - 警告内容について …… 2〜5
  - 注意内容について …… 6〜7
- 仕　様 …… 8
- 主要部のなまえとはたらき …… 9
- 設置場所について …… 10
- 手元スイッチ …… 11〜14
  - 電源ボタンと動作ロック機能について …… 11
  - 手元スイッチの取り付け位置について …… 12
  - 操作のしかた …… 13〜14
- 背上げ脚連動切り換えレバー …… 15
  - 操作のしかた …… 15
- キャスター …… 16
  - トータルロックキャスター …… 16
  - 4輪ロックキャスター・対角ロックキャスター … 16
- マットレス止め …… 17
- ヘッド・フットボードの着脱 …… 18〜19
  - 着脱のしかた …… 18〜19
- オプション …… 20〜22
  - オプション受けの使用方法 …… 20
  - サイドレール …… 20
  - 回転式アーム介助バー …… 21
  - マットレス …… 22
- 日常のお手入れ …… 23
- 故障かな？と思ったら …… 23
- 長期保管について …… 24
- 保証書 …… 裏表紙

シーホネンス株式会社

はじめに

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

必ずご使用前に『**安全にお使いいただくために**』をよくお読みになり正しくお使いください。製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警 告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が命にかかわるケガを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注 意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がケガを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〔絵表示の例〕

感電注意	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図中の中に具体的な注意内容（左の図の場合には『感電注意』）が描かれています。
分解禁止	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左の図の場合には『分解禁止』）が描かれています。
必ず守る	❗記号は、必ず実行していただく強制の内容があることを告げるものです。左図は、「必ず守る」を示します。

ベッドのご使用時には、下記の項目の『警告』および『禁止』を必ずお読みください。

■警告ラベルについて ☞1ページ参照
■警告内容について ☞2～5ページ参照
■注意内容について ☞6～7ページ参照

警告ラベルについて

ベッドをお使いの方に対して、特に注意していただきたいことをラベルにして、各ユニットなどに貼っています。

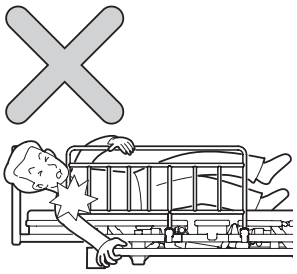
●警告ラベルは、はがしたり傷をつけたりしないでください。

警告　以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人が生命にかかわるケガを負う可能性が想定されます。

●サイドレールやヘッド･フットボードのすき間に注意する

必ず守る

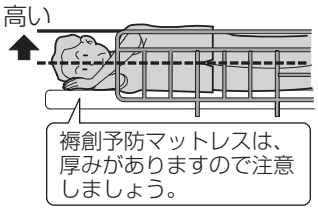
身体の一部（特に頭や首）がサイドレールとサイドレール・回転式アーム介助バーなどのすき間、サイドレール・回転式アーム介助バーなどとヘッド・フットボードや各ボトム・マットレスなどのすき間に入らないように注意してください。
すき間に入った状態でベッドを操作すると、はさまれてケガをするおそれがあります。
また、すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなったりするなどして、ケガをするおそれがあります。
特に予測のできない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避できないと思われる方につきましては、十分注意してください。
20 ページ 参照



●マットレス厚みとサイドレールの高さに注意して使用する

必ず守る

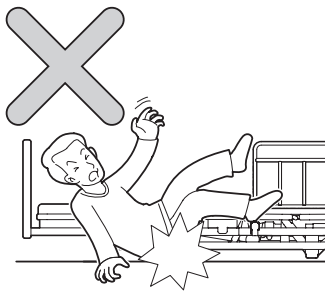
厚みのあるマットレスを使用する場合は、サイドレールの有効寸法高さが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。転倒・転落してケガをするおそれがあります。
最大マットレス厚（17cm）を超えない厚みのマットレスを使用してください。22 ページ 参照
高さの高いサイドレールが必要な場合は弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。



●サイドレールを使用するときはベッドからの転落に注意する

必ず守る

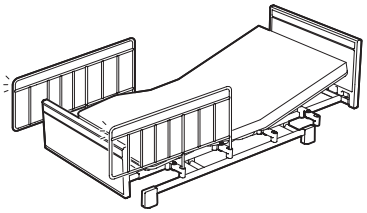
サイドレールとサイドレール・回転式アーム介助バーなどのすき間やヘッド・フットボードとサイドレール・回転式アーム介助バーなどのすき間から転落してケガをするおそれがあります。また、ヘッド・フットボード・サイドレール・回転式アーム介助バーなどの上から身を乗り出して転落し、ケガをするおそれがあります。
ベッドの背ボトムを上げた状態で使用する場合、転落防止としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
特に予想できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避することができないと思われる方につきましては、十分注意してください。



●オプション部品は正しい向きで取り付ける

必ず守る

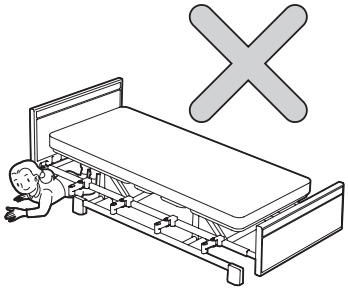
サイドレールや回転式アーム介助バーなどのオプション部品を取り付ける際は、正しい向きで取り付けてください。
ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して身体の一部がはさまれたりして、ケガをするおそれがあります。
正しい向きでの取り付けかたについては、必ず各オプションの「取扱説明書」を参照してください。



●ベッドの下にもぐり込んだり、身体の一部を入れない

禁 止

ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレール、回転式アーム介助バーなどとの間に身体の一部（頭や手、足）をはさんでケガをするおそれがあります。
ベッドの操作時は、ベッドの下や周りに障害物がないことを確認して操作してください。
やむをえずベッドの下にもぐり込んだり、身体の一部を入れる必要がある場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



●オプション部品やヘッドボードなどに腰掛けたり、踏み台代わりにしたり、足をかけて立ち上がらない

禁 止

サイドレールや回転式アーム介助バーなどのオプション部品やヘッド・フットボードに腰掛けたり、踏み台代わりにしたり、足をかけて立ち上がったりしないでください。
乗り降りの際は、足元のスペースを確保し、足がしっかりゆかにつくようにベッド高さを調節してください。
ベッドから転倒・転落してケガをしたり、ベッドやサイドレール・回転式アーム介助バーなどが破損・変形するおそれがあります。

●操作が理解できないと思われる方（お子さまや認知症の方など）に操作させない

禁 止

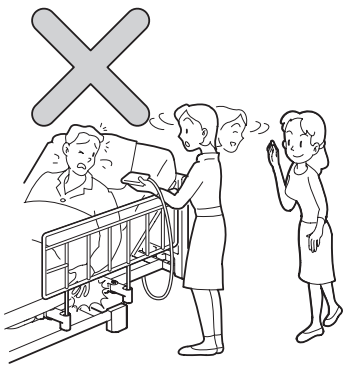
操作が理解できないと思われる方（お子さまや認知症の方など）が１人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬケガをするおそれがあります。１人で手元スイッチに触れる可能性がある場合は、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

・手元スイッチの動作ロック機能で「高さの操作」または「全ての操作」をロックする。手元スイッチに付属している専用キーを切り離して紛失しないよう保管してください。12 ページ 参照
動作ロックの設定後、手元スイッチのロックランプが点灯していることと、動作ロックを設定した手元スイッチのボタンを押して正しく設定されているか必ず確認してください。
・電源プラグを抜いてください。

●ベッドをご使用の方に注意して操作する

必ず守る

ベッドを操作するときにオプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください。衣類などが引っ張られるなどしてケガをするおそれがあります。
ベッドをご使用の方がボトムの角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、サイドレール・回転式アーム介助バーなどや各ボードなどとのすき間にはさまれたりして、ケガをするおそれがあります。
無意識にボタンが押されることのないように手元スイッチは安全な位置においてください。
特に予測のできない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避できないと思われる方につきましては、十分注意してください。



●ベッドからの転倒･転落に十分注意する

必ず守る

ベッドの乗り降りや車いすへの移乗のときにオプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください。転倒･転落してケガをするおそれがあります。
特に介護者などがベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離したりする際は、万一のベッドからの転落に備え、ご使用の方の状況に応じてボトムの角度を水平にしてベッドの高さを一番低い位置にしてください。
思わぬケガをするおそれがあります。

●乳幼児やお子さまには使用しない

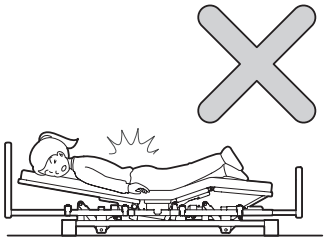
禁 止

本製品は、乳幼児やお子さま向けに設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、ケガをするおそれがあります。
サイドレールを使用していてもすき間から転落して、ケガをするおそれがあります。

●うつ伏せや無理な姿勢での角度調節はおこなわない

禁 止

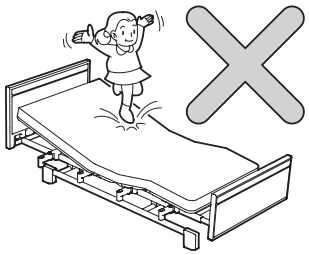
うつ伏せや無理な姿勢（仰向け以外）での角度調節は、ケガをするおそれがあります。
また、ベッドの頭側と足側を間違えた状態での角度調節も無理な姿勢となり、ケガをするおそれがあります。



●ベッドの上で飛び跳ねたりしない

禁 止

ベッドから転倒・転落してケガをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。
特にお子さまにご注意ください。



●上がっている背ボトムに乗らない

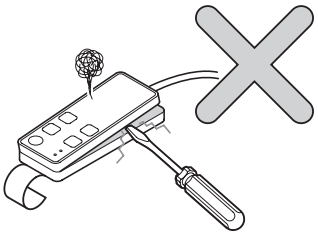
禁 止

無理に体重をかけたりすると、破損・抜け・変形などがおこり、転倒・転落してケガをするおそれがあります。

●分解、改造はしない

禁 止

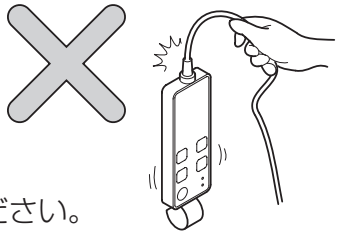
意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、ケガをするおそれがあります。
弊社指定の技術者以外の方は絶対に修理しないでください。



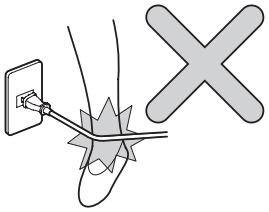
●コード類を傷つけない

禁 止

手元スイッチなどの電装部品やコード類（電源コードなど）が破損し、感電・火災のおそれがあります。
ベッドの可動部に手元スイッチやコード類をはさまないようにしてください。
コード類に重い物を置いたり無理な力を加えたりしないでください。
ベッドでコード類を踏みつけないでください。
傷んだ手元スイッチなどの電装部品やコード類は修理（交換）を依頼してください。



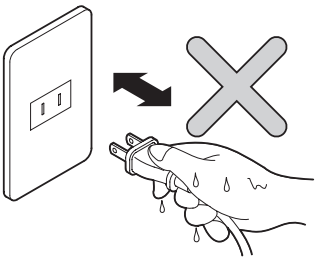
●コード類に足を引っ掛けない



禁 止

手元スイッチなどの電装部品やコード類（電源コードなど）に足を引っ掛けないようにしてください。
プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
また、転倒してケガをするおそれがあります。

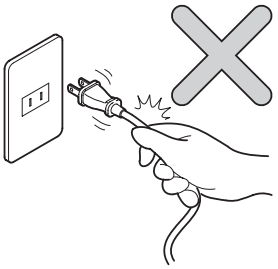
●電源プラグを濡れた手で抜き差ししない



感電注意

ショートして感電・故障するおそれがあります。

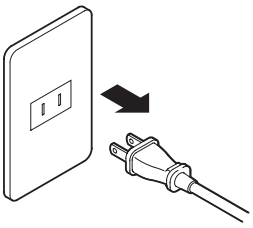
●電源コードを持って抜かない



感電注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。
コードが傷んで感電・発火のおそれがあります。また、電源プラグには、無理な力を加えないでください。

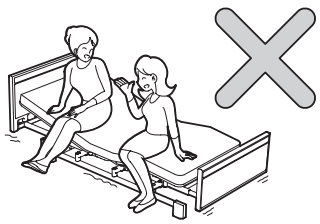
●お手入れは電源プラグを抜いてからおこなう



プラグを抜く

お手入れや掃除などベッドの下に入る際は、電源プラグを抜いてからおこなってください。
誤操作によるケガやショートによる感電のおそれがあります。

●このベッドは1人用の設計になっています



このベッドの最大利用者体重は 138kg です。一時的に介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確かめてください。

○ベッドにかかる荷重が最大利用者体重 138kg を超えていないこと

禁 止

安全動作荷重について

・このベッドの安全動作荷重は 174kg です。安全動作荷重は、ベッドの動作がおこなえる最大荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

※ベッドに安全動作荷重以上の荷重を加えないでください。

・ベッドが破損してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意　以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人がケガを負う可能性や物品的損害の発生が想定されます。

●本製品の取り扱いに注意する

禁 止

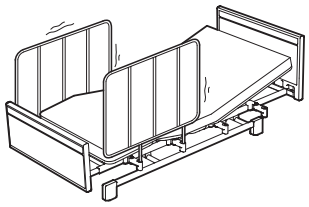
輸送、設置、移動の際は絶対に落下など衝撃を与えないでください。
振動・衝撃の多い場所や不安定な場所で保管しないでください。
使用時はたたいたり、飛び乗ったりしないでください。
故障の原因となります。

●適合品以外と組み合わせしない

禁 止

弊社が指定する適合品以外の製品とは組み合わせしないでください。
オプション製品などは、必ず弊社が指定する適合品を使用してください。適合品以外の製品と組み合わせると意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、ケガをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。

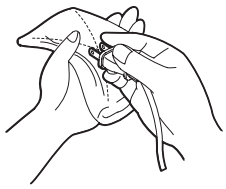
20～22 ページ 参照



●電源プラグにほこりを付着させない

禁 止

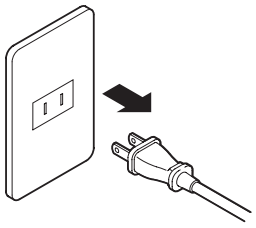
電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火のおそれがあります。
電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。



●電子治療器を使用するときは、必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く

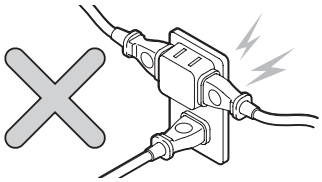
電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。
なお、他の ME 機器と併用する際は、安全を確認の上、使用してください。



●タコ足配線はおこなわない

禁 止

コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して発火するおそれがあります。



●ベッドは定期的に点検する

必ず守る

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。
定期的に各部のゆるみ、可動部の動作破損の有無などを点検してください。
思わぬケガをするおそれがあります。

●被災したベッドは点検・修理する

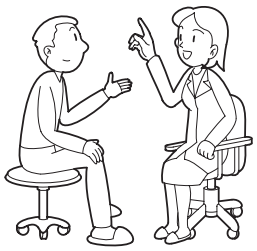
必ず守る

地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートまで点検・修理を依頼してください。
電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によってケガをするおそれがあります。

●容態にあわせて使用する

必ず守る

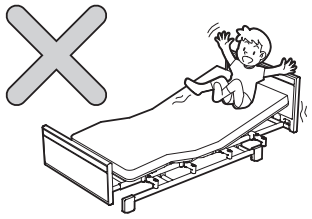
ベッドをご使用の方の容態にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談してください。
ご使用の方の容態によっては、ベッドの操作で容態を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。



●上がっている背ボトムや脚ボトムに乗らない

禁 止

ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因になります。



●火器に近付けない

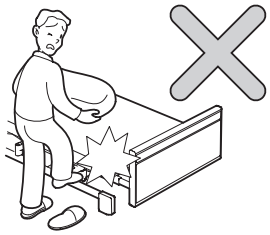
必ず守る

ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。
変質・変形・発火などの原因になります。

●足先をベースフレームの上や下に置かない

禁 止

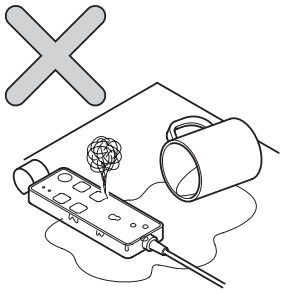
ベースフレームの上に足をかけたり、足先を下にいれたりしないでください。
はさまれてケガをするおそれがあります。



●水などをこぼさない

必ず守る

手元スイッチなどの電装品は防水仕様ですが、水などをこぼさないでください。
故障の原因になります。
水などがかかってしまった場合には、すぐに拭き取り、乾いてから動作確認をおこなってください。動作に異状がある場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。



●スプレータイプの殺虫剤をベッドなどに直接噴射しない

禁 止

殺虫剤に含まれる溶剤によって樹脂部品が破損・変形・溶解するおそれがありますので十分ご注意ください。

●ベッドやベッド以外の電気機器のコード類（電源コードなど）をベッドの下に通さないでください

必ず守る

キャスターや可動部にはさまれてコード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。

仕　様

モーター数			2モーター(背・脚連動)		3モーター	
寸法	ボトム幅		83cm	90cm	83cm	90cm
	ボトム長さ		191cm			
	全幅	ボード幅 木製レギュラーボード	83cm	90cm	83cm	90cm
		ボード幅 木製デラックスボード	83.4cm	90.4cm	83.4cm	90.4cm
		格納式OP受使用時	91.6cm	98.6cm	91.6cm	98.6cm
	全長	木製レギュラーボード	207cm			
		木製デラックスボード	209cm			
	キャスター間長さ		対角ロック=150cm／トータルロック=176cm			
	ボトム高さ	脚座	25～61cm			
		対角ロックキャスター	29～65cm			
		トータルロックキャスター	30～66cm	28～64cm	30～66cm	28～64cm
	ヘッドボード高さ	木製レギュラーボード	31cm			
		木製デラックスボード	38cm			
	フットボード高さ	木製レギュラーボード	31cm			
		木製デラックスボード	22cm			
製品質量（SL-3M-90-T）			最大84.5kg			
キャスター径	対角ロックキャスター		φ10cm双輪キャスター			
	トータルロックキャスター					
電源コード長さ			320cm			
主な材質	フレーム		スチール製（粉体焼付塗装仕上げ）、一部樹脂成形品			
	ボトム		ワイヤーメッシュ（粉体焼付塗装仕上げ）、一部樹脂成形品			
	ヘッド・フットボード		MDF、木目シート			
最大利用者体重／安全動作荷重			138kg／174kg（1700N）			
最大マットレス厚			15cm			
動作保証条件			温度：10～40℃／湿度：30～75%RH			
動作音			65dB以下			
動作範囲	背上げ角度／所要時間		0～72°／約30秒			
	膝上げ角度／所要時間		0～15°（背と連動）		0～30°／約16秒	
	高さ調節／所要時間		36cm／			

電装品	
形式	リニアアクチュエータ（DCモーター）
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背上げ：約35W以下、膝上げ：約35W以下、高さ調節：約60W以下
待機電力（無負荷）	約3W以下
連続使用時間	約2分（間欠18分）
動作音	65dB以下

主要部のなまえとはたらき

手元スイッチ

ベッドの高さ、ボトムの角度を無段階で調節できます。
上部についているフックで定められた場所にかけてください。
※操作(動作)については、「手元スイッチ」を参照してください。

☞11～14ページ参照

ヘッドボード

ボードストッパーを外して、上に持ち上げると外れます。

☞18・19ページ参照

フットボード

ボードストッパーを外して、上に持ち上げると外れます。

☞18・19ページ参照

背ボトム

座ボトム

マットレス止め

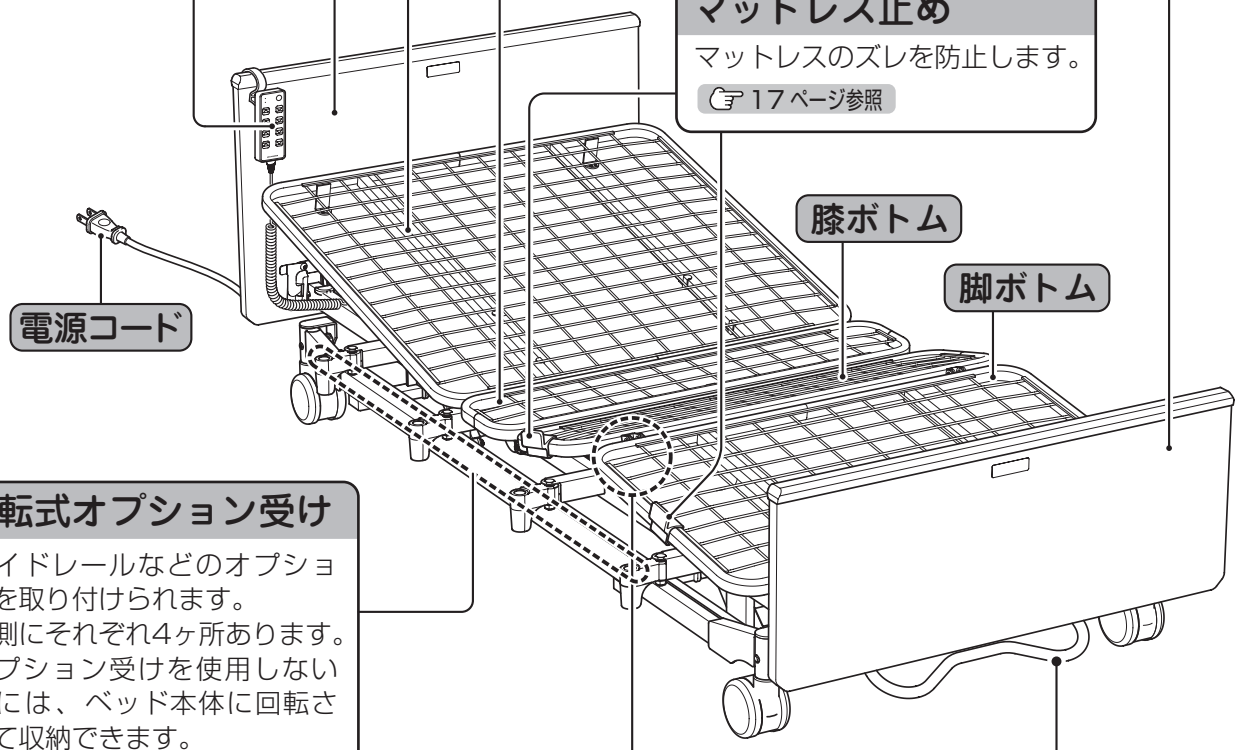
マットレスのズレを防止します。

☞17ページ参照

膝ボトム

脚ボトム

電源コード



回転式オプション受け

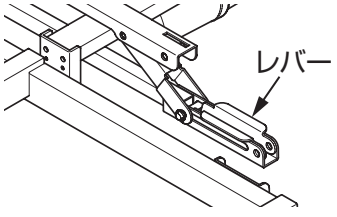
サイドレールなどのオプションを取り付けられます。
片側にそれぞれ4ヶ所あります。
オプション受けを使用しない時には、ベッド本体に回転させて収納できます。

☞20・21ページ参照

背上げ脚連動切り替えレバー

「背上げ脚連動」と「背上げ」の切り替えができます。(2モーターのみ)

☞15ページ参照



トータルロックペダル

キャスターのロック・解除が簡単に4輪同時にできます。
(トータルロックキャスター仕様のみ)

☞16ページ参照

設置場所について

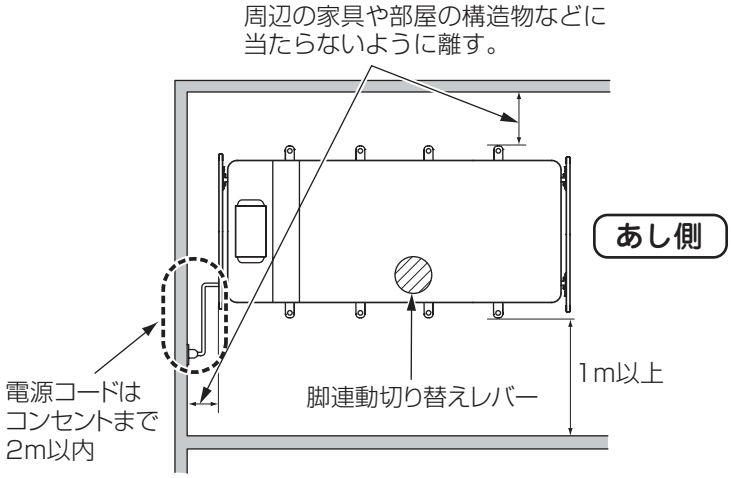
■ベッドを設置する際は、以下の条件を考慮してください。

設置スペースを確保する

次のことを考慮したうえで、右図を参考に設置します。

1.療養されている方がベッドの左右どちら側から乗り降りしやすいか。

2.介助をするためのスペースがどれだけ必要か。



水平で丈夫なゆかを選ぶ

ベッドの重量と療養される方、オプション製品、寝具なども含めた重量が使用時の静荷重となります。この荷重に十分耐えられるゆかの強度を確保してください。

警 告

●滑りやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用する場合は、脚座やキャスターの下に別売の脚座保護パッド（品番K-145）などを敷いてください。
使用中にベッドが不意に動き、転倒してケガをするおそれがあります。

注 意

●畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座やキャスターの下に別売の脚座保護パッド（品番K-145）などを敷いてください。
畳やじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

電源プラグが抜き差ししやすいところにベッドを設置してください。

注 意

事故、破損、ケガをします。

●ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください。
身体の一部がはさまれて、ケガをするおそれがあります。
特に予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自力で危険な状態から回避することができないと思われるかたにつきましては十分ご注意ください。

●ベッドを操作する(高さ調節や背上げ)際に周辺の用具や家具、部屋の構造物に気をつけてください。
ご使用の際には、ベッドの可動範囲周辺の用具や家具、部屋の構造物、電源プラグにあたらないことを確認してください。

●ベッドの電源は直接コンセントからとってください。
延長コードやテーブルタップなどを使用すると火災の原因になります。

●電冷暖房機の風が直接ベッドに当たらないようにベッドを設置してください。

使いかた

手元スイッチ

手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、膝ボトムの角度、ベッドの高さを無段階に調節できます。
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。

操作の前に、ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

警 告

- **操作が理解できないと思われる方（お子さまや認知症の方など）が１人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬケガをするおそれがあります。１人で手元スイッチに触れる可能性がある場合は、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。**
  - ・手元スイッチの動作ロック機能で「高さロック」または「全ロック」の設定をする。手元スイッチに付属している専用キーを切り離して紛失しないよう保管してください。
    ☞12ページ参照
    動作ロックの設定後、手元スイッチのロックランプが点灯していることと、動作ロックを設定した手元スイッチのボタンを押して正しく設定されていることを必ず確認してください。
  - ・電源プラグを抜いてください。

注 意

故障の原因になります

- **モーターの連続使用時間は２分までです。２分以上の連続使用はおこなわないでください。**
  続けて使用する場合はしばらく時間をおいて使用してください。
- **手元スイッチは防水仕様ですが、水などをこぼさないでください。**
  水などがかかってしまった場合には、すぐに拭き取ってください。乾いてから動作確認をおこなってください。動作に異状がある場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

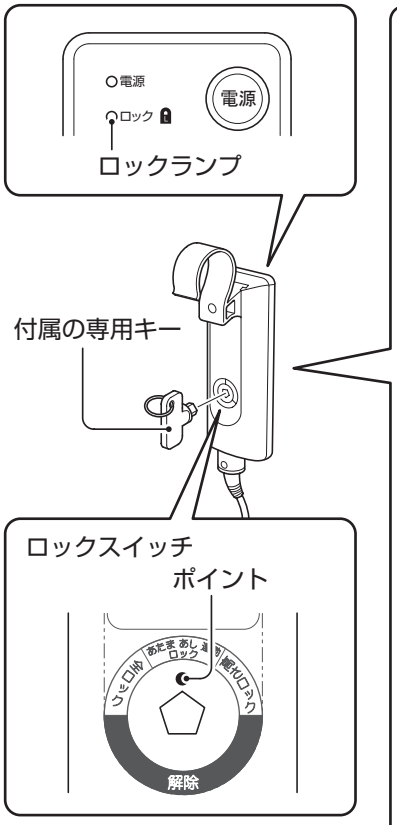
電源ボタンと動作ロック機能について

電源ボタン

手元スイッチの電源ボタンを押すことで各操作ができるようになります。（電源ランプ:緑点灯）
誤操作による事故を未然に防ぐため、操作が終わったら電源ボタンを押して電源を切ってください。

動作ロック機能

手元スイッチ裏側のロックスイッチを付属している専用キーで回転させることで、ロック操作を設定できます。ロックスイッチを回転させて設定するときは、ポイントの位置を表示の中央に合わせてください。



・ポイントの位置が
「解除」のとき
→全ての操作ができます。
工場出荷時は「解除」になっています。

・ポイントの位置が
「高さロック」のとき
→高さの操作ができません。
（ロックランプ：オレンジ点灯）

・ポイントの位置が
「全ロック」のとき
→全ての操作ができません。
（ロックランプ：オレンジ点灯）

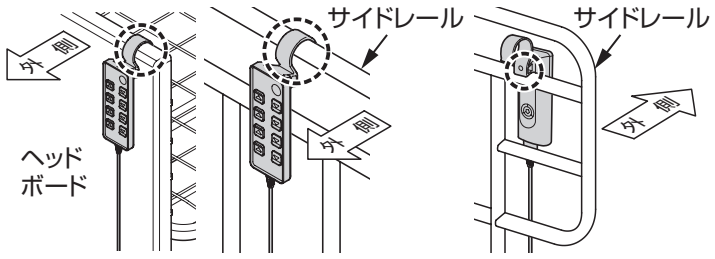
・ポイントの位置が
「あたま あし 連動ロック」のとき
（2モーターは**「あたま あし 連動ロック」**ではなく、**「解除」**と表示されています）
→「あたま　あし」ボタンの操作ができません。
※「あたま」ボタンと「あし」ボタンは個別に操作できます。
（ロックランプ：オレンジ点灯）

Point

●動作ロックを設定したにもかかわらず、ロックランプが点灯していないときは、動作ロックが正しく設定できていません。再度設定してください。

手元スイッチの取り付け位置について

手元スイッチは手元スイッチ上部のフックを利用してヘッドボードやフットボードの上端やサイドレールに引っ掛けることができます。引っ掛けるときはベッドの外側に掛けてください。また、フックの根元付近を利用してサイドレールや手に引っ掛けることもできます。



警 告

ケガをするおそれがあります

●ベッドをご使用の方が手元スイッチを操作するときは、必ず手に持って操作してください。誤操作や意図しない動作をして、ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレール、回転式アーム介助バーなどとはさんでケガをするおそれがあります。

●手元スイッチをヘッドボードやフットボード、サイドレールに引っ掛けるときは、安全のためベッドの外側に掛けてください。ベッドの外側以外の場所に掛けるとボトムとサイドレールのすき間に手元スイッチがはさまれ、手元スイッチが破損・変形するおそれがあります。

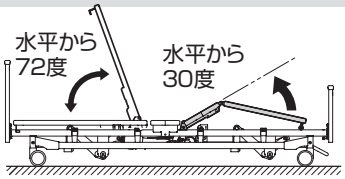
操作のしかた

3モーター

● あたまあしボタン

からだに負担をかけない

を押すと膝ボトムを連動させつつ背ボトムが上がります
を押すと膝ボトムを連動させつつ背ボトムが下がります



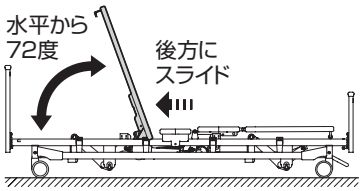
● 前ずれや圧迫感を軽減させながら背ボトムを調節できます。

● 背上げについて

ベッドから起き上がるとき

を押すと背ボトムが上がります
を押すと背ボトムが下がります

ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利



●背ボトムの角度を調節できます。

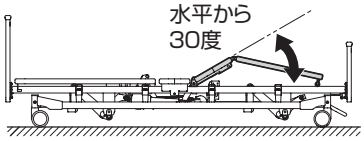
背ボトムは、水平から最大72度まで調節できます。

● 膝上げについて

背上げをおこなう場合に便利

を押すと膝ボトムが上がります
を押すと膝ボトムが下がります

からだに負担をかけない



●膝ボトムの角度を調節できます。

膝ボトムは、水平から最大30度まで調節できます。
※背上げをおこなう場合、先に膝ボトムを上げておくと体のずれが少なくなります。
※からだに負担がかからないように調節します。

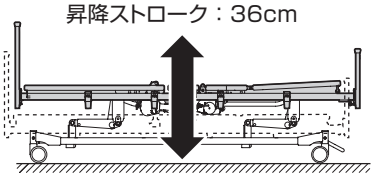
● 高さ調節について

乗り降りのときに高さを調節

を押すと高さが上がります
を押すと高さが下がります

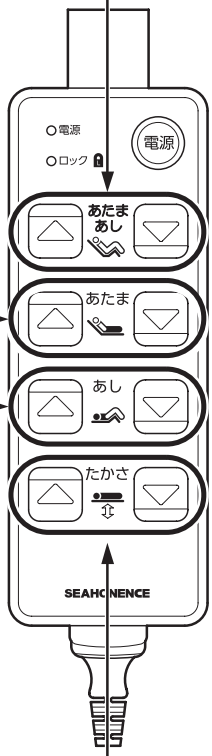
看護などをしやすい高さに調節するのに便利

ベッドの下や周辺を掃除するときに便利



●ベッドの高さを調節できます。

ボトムの高さは36cmの間で調節できます。



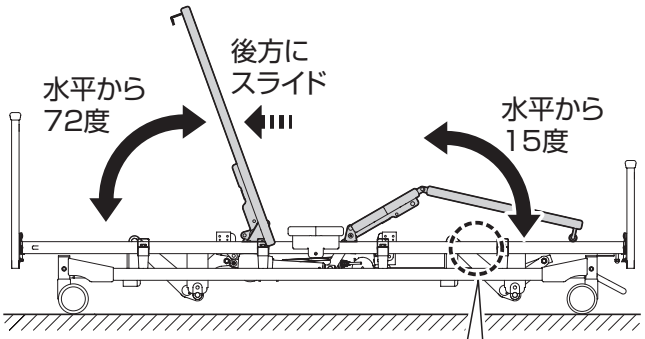
2モーター

● 背上げについて

ベッドから起き上がるとき

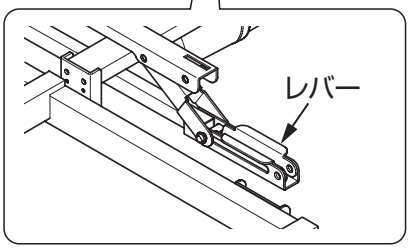
ベッドでの読書や
テレビ鑑賞に便利

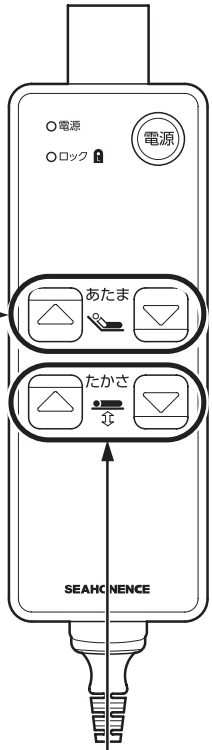
を押すと背ボトムが上がります
を押すと背ボトムが下がります



背上げ脚連動切り替えレバーにより「背上げのみ」と「連動」の切り替えができます。

☞15ページ参照





●背ボトムの角度を調節できます。

背ボトムと膝ボトムが連動し、背ボトム72度、膝ボトム15度まで上がります。
背上げ脚連動切り替えレバーにより「背上げのみ」と「連動」の切り替えができます。
2モーターは、膝ボトムだけでの角度調節はできません。

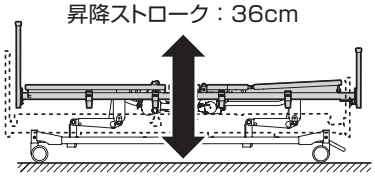
● 高さ調節について

乗り降りのときに
高さを調節

看護などをしやすい高さに
調節するのに便利

ベッドの下や周辺を掃除
するときに便利

を押すと高さが上がります
を押すと高さが下がります



●ベッドの高さを調節できます。

ボトムの高さは36cmの間で調節できます。

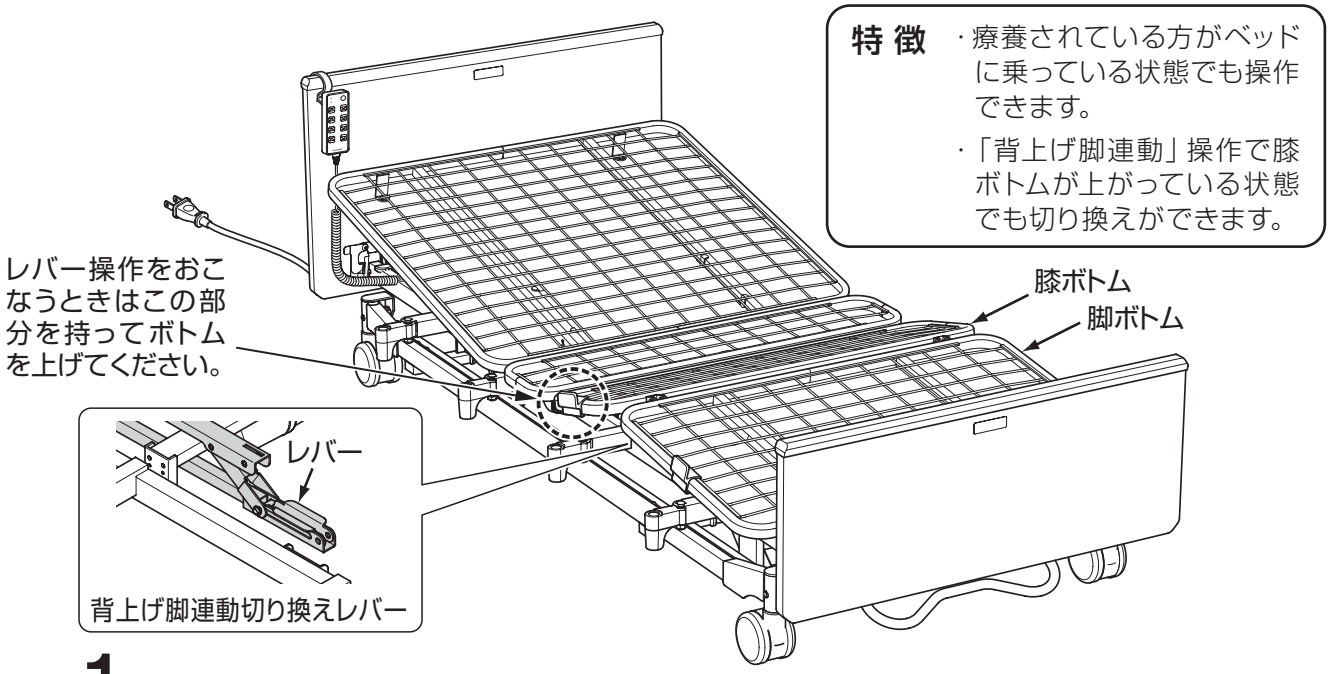
背上げ脚連動切り換えレバー

操作のしかた

●切り換えレバーにより背ボトムと膝ボトムが連動して上げる「背上げ脚連動」と背上げのみの「背上げ」の2種類の上げかたが選択できます。療養されている方の状態に合わせて使い分けてください。

2モーター

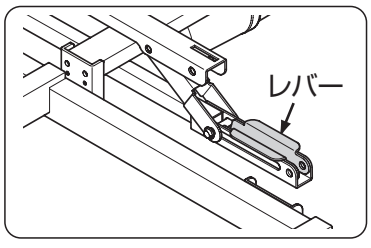
特 徴
・療養されている方がベッドに乗っている状態でも操作できます。
・「背上げ脚連動」操作で膝ボトムが上がっている状態でも切り換えができます。



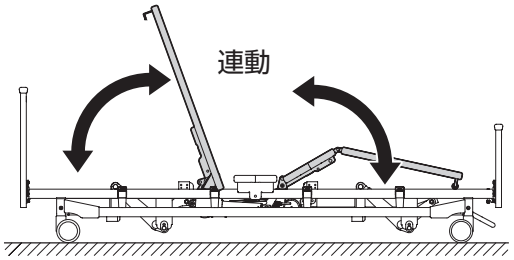
1 脚ボトムを持ち上げる

2 背上げ脚連動切り換えレバーを操作する

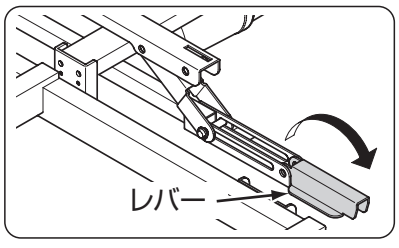
背上げ脚連動状態



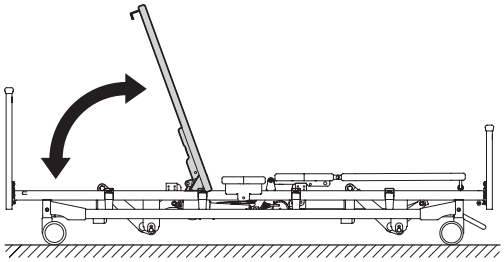
レバーが図のような位置にあると脚連動状態になります。



背上げ脚連動解除状態



レバーを上げると連動が解除され、背上げのみの操作になります。



警 告

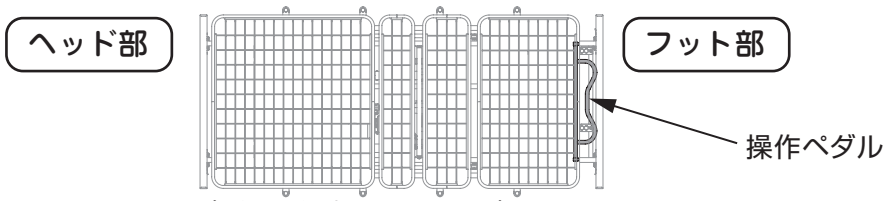
●背上げ脚連動切り換えレバーの操作は、必ず手でおこなってください。
●ボトムとフレームの間で手を挟まないよう注意してください。

キャスター

トータルロックキャスター

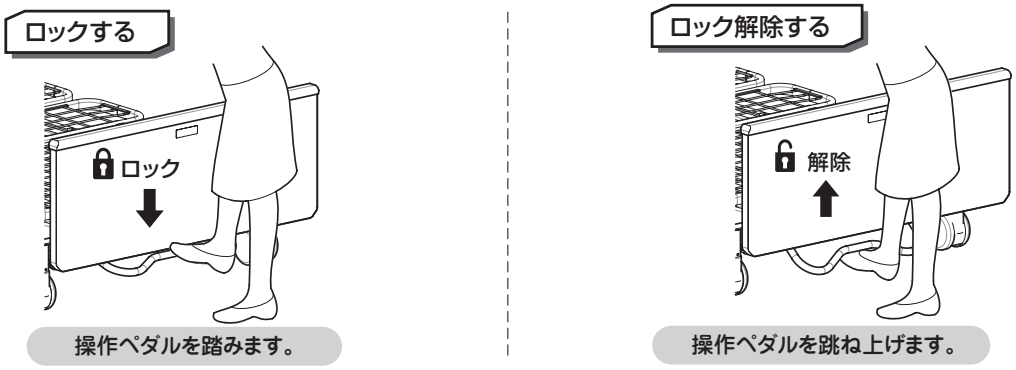
対象品番　SL−3M−90T、SL−3M−83T、SL−2M−90T、SL−2M−83T

- キャスターのロック操作は、ベッドのフット側下部にあるロックキャスターの操作ペダルを使用します。
- 操作ペダルを踏むことによって、キャスターの首振りと回転が4輪同時にロックされます。



（ベッドを上から見た図）

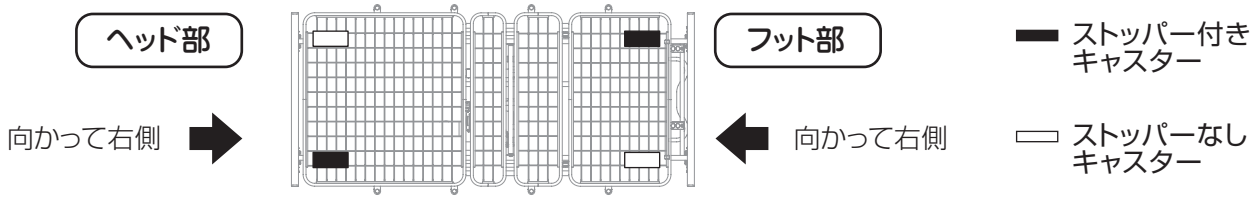
- 操作ペダルの操作でキャスターのロックと解除が可能です。



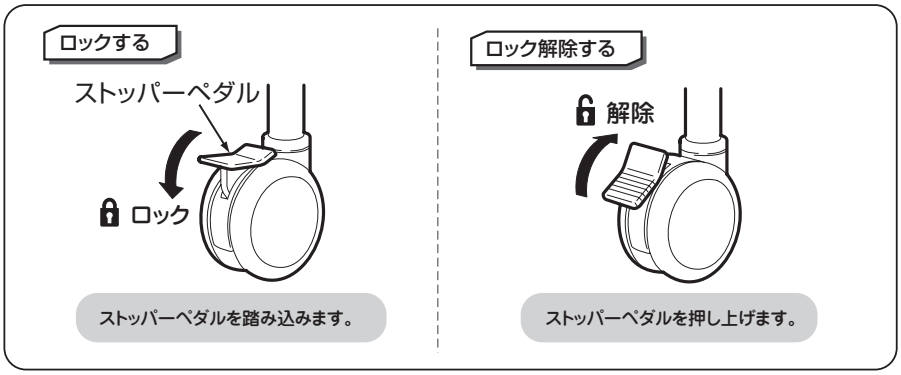
4輪ロックキャスター・対角ロックキャスター（品番末尾 F＝4輪ロックキャスター S＝対角ロックキャスター）

対象品番　SL−3M−90F/S、SL−3M−83F/S、SL−2M−90F/S、SL−2M−83F/S

- 対角ロックキャスターのストッパーペダルは、ヘッド・フットボード側より向かって右側にあります。

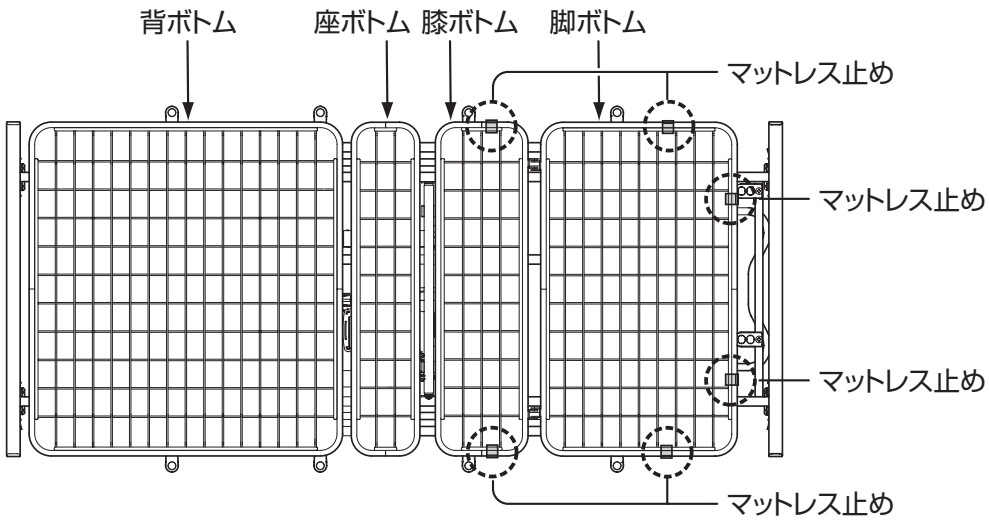


（ベッドを上から見た図）



マットレス止め

■ベッドをお使いになる方に合わせて取り付け位置を決めてください。



（取り付け位置参考例）

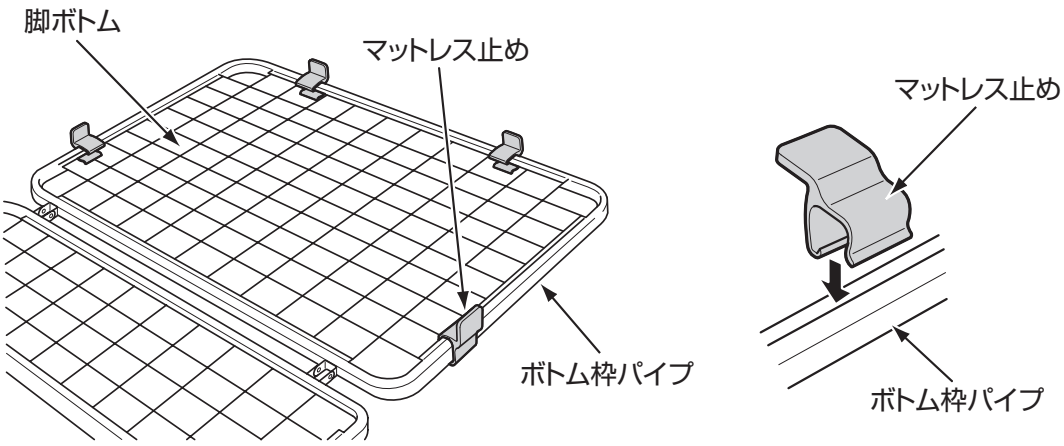
警 告

事故、破損をします。

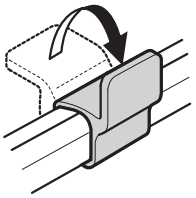
- ベッドへの乗り降りの邪魔になるため、座ボトムへのマットレス止めの取り付けはおすすめできません。
- 背ボトムにはマットレス止めを取り付けないでください。背ボトムを上下させた場合、サイドレール、回転式アーム介助バーと接触し危険です。

取り付けかた

1 マットレス止めをボトム枠パイプに差し込む



2 取り付けたマットレス止めを矢印方向に回転させ、ボトム枠パイプに固定する



ヘッド・フットボードの着脱

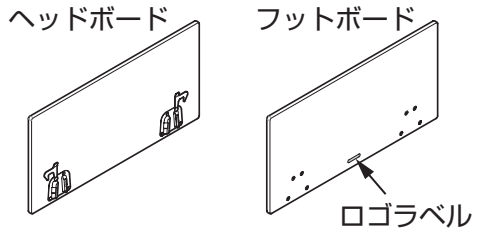
事故、破損、ケガをします。

注 意

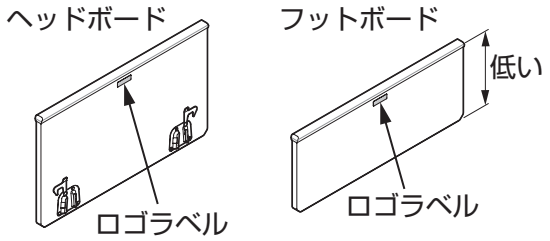
- ヘッド・フットボードの取り付け、取り外しの際は、手や指などを挟まないように注意してください。
- ヘッド・フットボードはしっかり最後まで差し込み、確実にボードストッパーで固定してください。不用意にボードが外れるおそれがあります。
- ヘッド・フットボードには腰を掛けたり寄りかかったり無理な荷重をかけないでください。

着脱のしかた

レギュラーボード



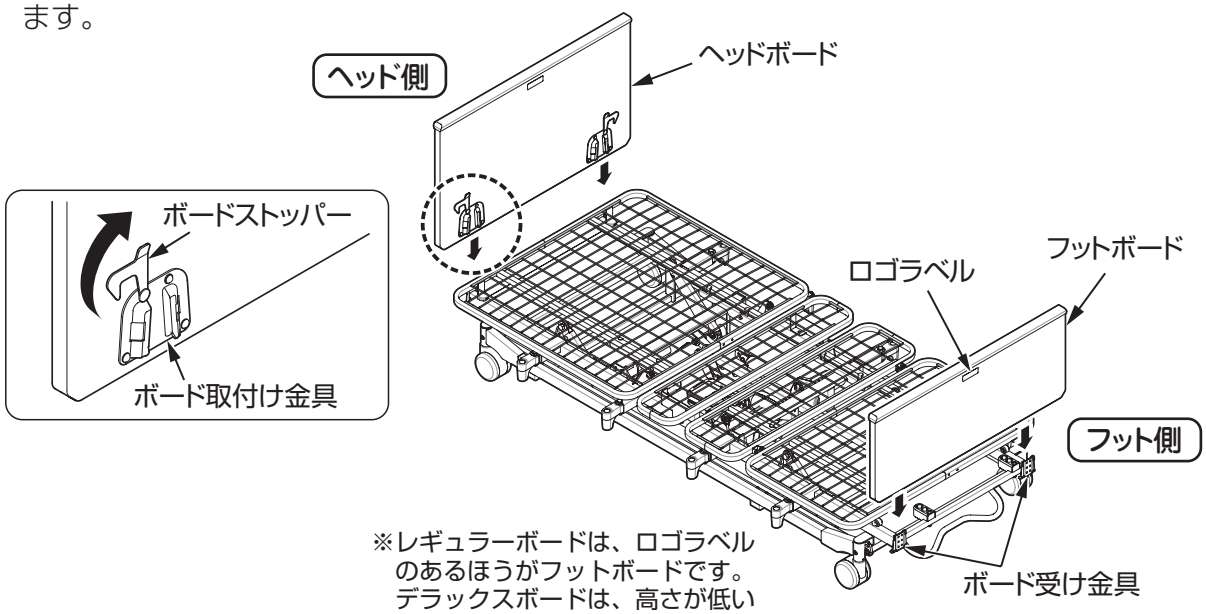
デラックスボード



取り付けかた

1 ヘッド・フットボードを取り付ける

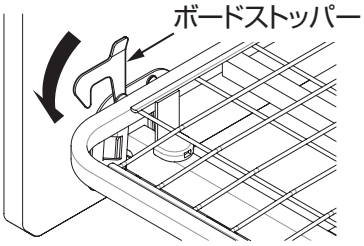
ボードストッパーを回転させて、ボード取付け金具をボード受け金具に最後まで差し込みます。



※レギュラーボードは、ロゴラベルのあるほうがフットボードです。
デラックスボードは、高さが低いほうがフットボードです。

2 ロックする

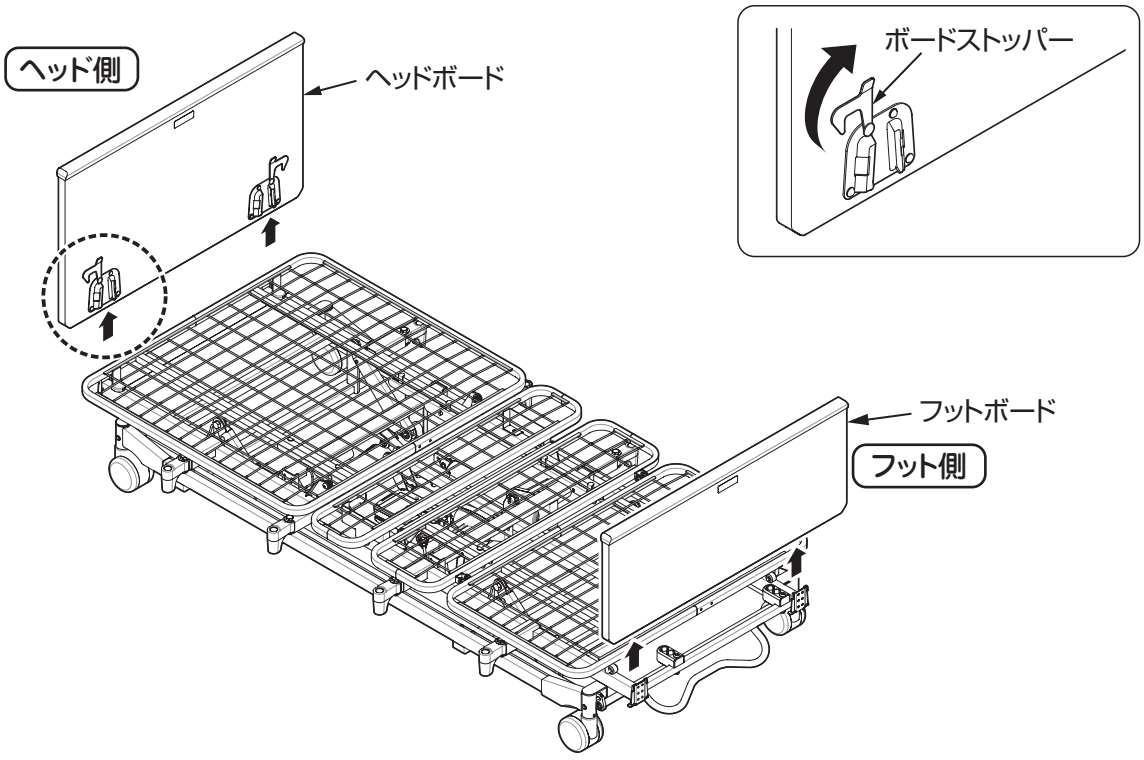
ボードストッパーを矢印の向きに回転させロックします。



取り外しかた

1 ヘッド・フットボードを取り外す

「取り付けかた」と逆の要領でボードストッパーを回転させてロックを解除し、ヘッド・フットボードを両手で持って、真上に取り外します。



オプション

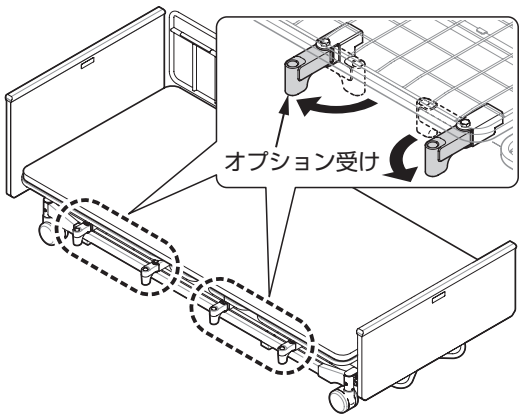
事故、破損の原因になります。

注 意

- このベッドには、必ず弊社製品のオプションを使用してください。
  他社製品は、寸法などが適合しないだけでなく、ベッドに負担をかけて故障の原因になります。
- 各オプションに付属の取扱説明書も必ずお読みください。

オプション受けの使用方法

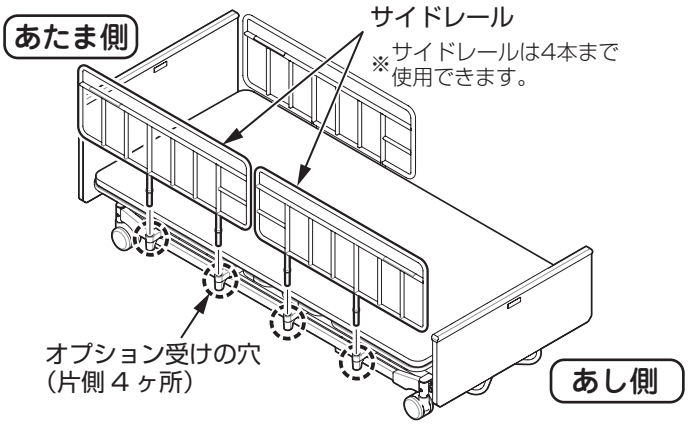
ベッド両サイドのオプション受けは、ボトム下部に格納できます。
格納するとベッドからの突出を抑えて、車椅子をより接近させることが可能です。移乗や歩行時にも引っかかりや動作の妨げにはなりません。



サイドレール

ベッド両側のオプション受けの穴を利用してサイドレールを使用できます。

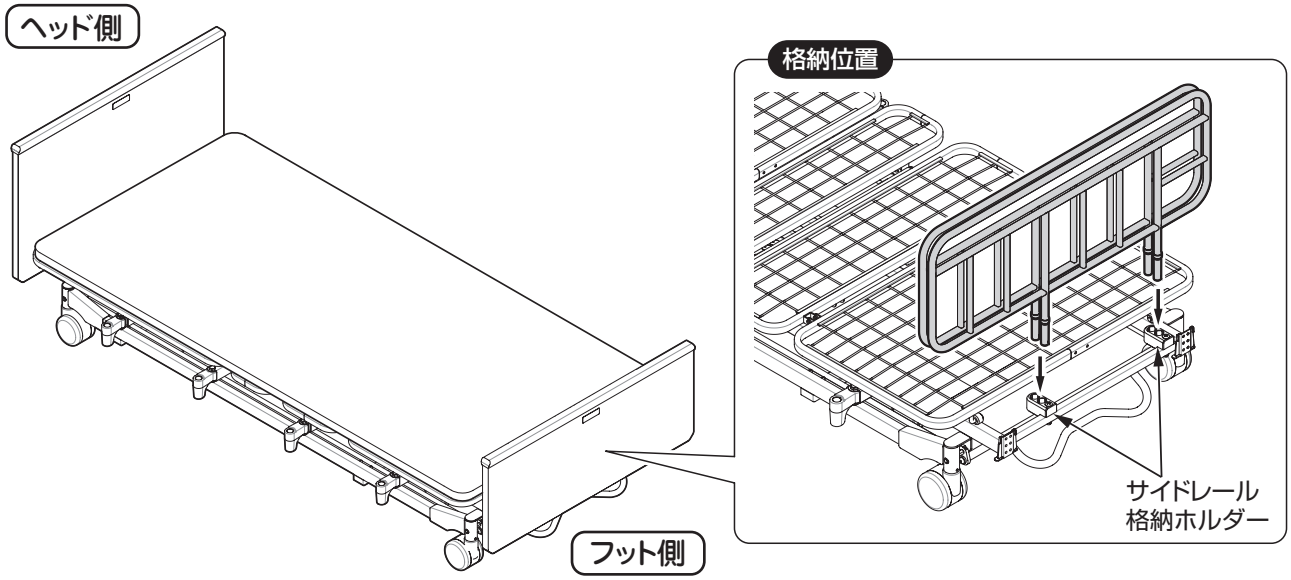
※ベッドへの取り付け位置は正しく取り付けてください。
※必ずベッドのサイズに合ったサイドレールをご使用ください。



格納のしかた

フットボードと脚ボトムの間にサイドレールの格納ホルダーを設けています。
使用しないときはここに1組（2本）格納できます。

> **警 告**
>
> ●フット側にサイドレールを差し込んでいる場合は、格納が出来ません。

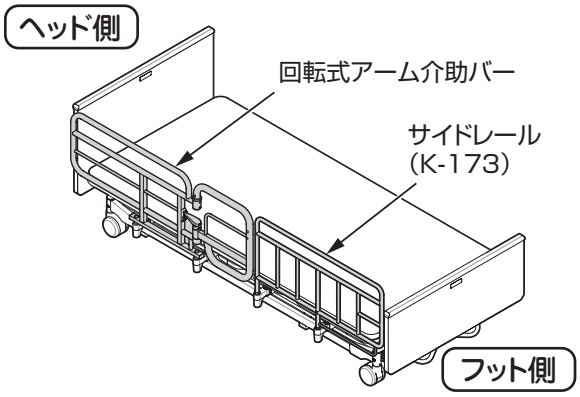


回転式アーム介助バー

●ベッド両側のオプション取付け穴を利用して回転式アーム介助バーを使用できます。
回転式アーム介助バーは、ベッドからの起き上がりや立ち上がりなどの動作を補助するのに役立ちます。

お願い

●安全のため、お使いいただく方がベッドから転落するおそれがある場合などには、「回転式アーム介助バー」と併用して「サイドレール K-173」を組み合わせてご使用ください。



回転式アーム介助バーを取り付け方は、それぞれの回転式アーム介助バーに付属している取扱説明書に従ってください。

マットレス

■支援用具があれば日常生活が可能な方に適応

DUO WAVE（デュオウェーブ）／ダブルウェーブマットレス

MB-5200 シリーズ
MB-2500 シリーズ
MB-4500 シリーズ

- 腰をかけたとき、手をついたときの沈み込みが少なく、安定性と体圧分散性に優れています。
- 独自のダブルウェーブ構造によりベッドの動きに合わせてしなやかに曲がります。
- 体圧を維持する適度な硬さと長時間の使用にもへたりがありません。
- 通気性･通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- MB-2500/5200 は難燃、通気性・通水性がある側生地を使用しています。
- MB-2501 は側生地に難燃・制菌加工を施し、通気性・通水性がある側生地を使用しています。
- MB-4501 は抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。防水性の側生地には通気性・通水性はありません。
- 上下、裏表の区別はありません。

■お好みによって使い分けることができる【硬め】、【柔らかめ】のダブルフェース

リバーシブルマットレス

MA-3000 シリーズ
RM-100 シリーズ
RM-400 シリーズ

- ソフトフェース面は、全体的に柔らかく身体に優しくフィットして自然な寝姿勢を保つことができます。
- ハードフェース面は、全体的に硬めで不自然な身体の沈み込みを抑えて寝返り時の安定性に優れています。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- MA-3000 は通気性・通水性がある側生地を使用し、中材の素材ごと交換が可能です。
- RM-100 は側生地に難燃・制菌加工を施し、通気性・通水性がある側生地を使用しています。
- RM-400 は抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。防水性の側生地には通気性・通水性はありません。

■体圧分散効果とリハビリを促進する床ずれ予防マットレス

C−MAX（シーマックス）

SA-2030 シリーズ

- シーホネンス独自のオリジナルウレタン構造により高い体圧分散効果を発揮します。
- マットレス底面は、底づきを防止するため硬めのウレタンフォームを使用しています。ベッドの背上げ・膝上げに合わせて柔軟に曲がるようにスリット加工を施しています。
- マットレス両サイドは、しっかりと安定した端座位姿勢がとれるように、また起き上がり時に手や肘を使ってしっかりと上体を起こすことができるよう硬めのウレタンフォームを使用しています。
- 抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。

■高反発ウレタン素材とスリット加工によりベッドの動きにフィットしたマットレス

Fit Tex（フィットテックス）

SA−1020 シリーズ

- ほどよい柔らかさの高反発ウレタンフォームを使用しており、快適な弾力でからだを安定して支えるとともに体動を吸収してリラックスできる寝心地をご提供します。
- マットレス全体にスリット加工を施すことで体圧を分散するとともに、ベッドの背上げ・膝上げの動きに合わせて柔軟に曲がります。
- 抗菌、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。

警 告

●ベッドのサイズに合ったマットレスを必ず使用してください。
ボトムのすき間や穴に手や足の指などがはさまれたり、はまったりして動けなくなり、けがをするおそれがあります。

日常のお手入れ

■拭き掃除をする場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞っておこなってください。

■その後、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

■洗浄液を使用する場合は下記の薬品を指定の濃度に薄めてご使用ください。

消毒用エタノール：76.9%～81.4%
塩化ベンザルコニウム液(オスバン)：0.05%～0.2%
クロルヘキシジン液(ヒビデン)：0.05%
塩化ベンゼトニウム液(ハイアミン)：0.05%～0.2%

・オスバンは、日本製薬㈱の登録商標です。
・ヒビテンは、アストラゼネカ・ユーケイ・リミテッドの登録商標です。
・ハイアミンは、ロンザ インコーポレーテッドの登録商標です。

警告

事故･故障･ケガの原因になります

●必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

破損の原因になります

●水で薄めた中性洗剤を使用する。
揮発性のもの(シンナー、ベンジン、アセトン、クレゾール)などは絶対に使用しないでください。本体が変色したり、塗装がはがれるおそれがあります。

故障かな?と思ったら

■故障でない場合がありますので、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしてください。
それでも直らない場合は、ベッドの使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き販売店に修理をご依頼ください。

症　状	チェック	処　置
コントロールボックスのランプが消えている	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。
手元スイッチを押しても動かない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電源はきていますか？	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。
	手元スイッチコードがコントロールボックスから抜けかけていませんか？	手元スイッチのコードをコントロールボックスにしっかりと奥まで差し込んでください。コントロールボックスのふたをしっかりと押さえて閉めてください。
	長時間連続で操作していませんか？	20～30分後に操作してください。
ボトム、ベッドの高さが上がらない	ベッド周辺、可動部に障害物がありませんか？	障害物を取り除いてください。
	手元スイッチの緑色ランプが点灯していますか？	電源ボタンを押してください。
	手元スイッチのオレンジ色ランプが点灯していませんか？	ロックを解除してください。☞12ページ参照

長期保管について

■ベッドの高さを最低位置まで下ろしてください。
■背ボトム、膝ボトムを水平の位置まで下ろしてください。
■ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
■マットレスの上には何も載せないでください。（マットレスの上に物を乗せたままにしますとマットレスが変形する場合がありますのでおやめください。）
■必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源コードは破損しないよう束ねてください。
■立て掛けたり、横倒しにしないでください。
■高温、多湿、ホコリの多い場所での保管は避けてください。
■取扱説明書は大切に保管してください。

MEMO

MEMO

1.保証書

この医療・療養施設用ベッドには保証書を添付しています。「販売店・購入日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2.修理を依頼されるとき

故障した際は、お買い上げ販売店もしくはメーカーまでご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

●品名、品番　●故障・異常の内容(できるだけ詳しく)　●お買い上げ日　●病院・施設名、お名前、ご住所、電話番号

■修理を依頼される前に

サービスを依頼される前に、今一度この取扱説明書をよくお読みください。それでも異常のある場合は、お買い上げ販売店もしくはメーカーにご相談ください。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは、下記の保証書をご覧ください。

3.部品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修部品（商品の機能を維持する部品）の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。

4.アフターサービスについてご不明な点

お買い上げの販売店もしくはメーカーまでお問い合わせください。

保証書

品名／品番		保証期間	お買い上げより1ヵ年間
お客様	お名前 〒 住所 TEL	販売店	お買い上げ日　　年　月　日 販売店名 住所 TEL

1.1年間の保証期間に取扱説明書に従った正常な使用状況で故障した場合には、無償修理致します。
2.保証期間内でも次の場合は有償になります。
①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および破損がある場合。
②お買い上げ後の落下による故障および破損。
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および破損。
④本書の提示がない場合。
⑤本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3.本書は国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
4.本書は再発行いたしませんので紛失しないようご注意ください。

※販売店さまへのお願い… お買い上げ日および貴店名、住所、電話番号を記入、捺印したうえでお客様にお渡しください。

修理、お取り扱い・お手入れなどのご相談は、
まずお買い上げの販売店、レンタル取次店へお申し付けください。

10月1日は 福祉用具の日

カスタマーサポートお問い合わせ窓口 ●●● FreeCall 0120-20-1001
（無料　ツーワ）

シーホネンス株式会社
札幌/仙台/東京(千葉)/神奈川/静岡/名古屋/金沢/岐阜/大阪/高松/高知/広島/福岡/宮崎
【大阪本社】〒537-0001 大阪市東成区深江北3-10-17 TEL 06-6973-3471

医療・介護ベッドの最新情報は、シーホネンス・ホームページをご覧ください。
www.seahonence.co.jp

©2018 SEAHONENCE INC.（シーホネンス株式会社）All Rights Reserved.

2018.12.01